



2023年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年11月13日

上場会社名 Recovery International株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9214 URL <https://www.recovery-group.co.jp/>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 大河原 峻
 問合せ先責任者（役職名） 取締役 経営管理部管掌（氏名） 柴田 旬也（TEL）03-5990-5882
 四半期報告書提出予定日 2023年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有（個人投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2023年12月期第3四半期の業績（2023年1月1日～2023年9月30日）

（1）経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第3四半期	1,175	16.9	111	39.7	113	54.9	74	54.8
2022年12月期第3四半期	1,005	24.1	79	△7.2	73	△19.3	48	△12.7
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2023年12月期第3四半期	52.93		51.85					
2022年12月期第3四半期	35.10		34.14					

（注）当社は、2022年2月3日に東京証券取引所マザーズ市場（現グロース）に上場したため、2022年12月期第3四半期累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は新規上場日から2022年12月期第3四半期会計期間の末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第3四半期	891	619	69.5
2022年12月期	784	544	69.5

（参考）自己資本 2023年12月期第3四半期 619百万円 2022年12月期 544百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年12月期	—	0.00	—	—	—
2023年12月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年12月期の業績予想（2023年1月1日～2023年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,728	24.8	176	14.1	179	20.8	124	15.3	88.32

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年12月期3Q	1,414,000株	2022年12月期	1,414,000株
② 期末自己株式数	2023年12月期3Q	102株	2022年12月期	55株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年12月期3Q	1,413,915株	2022年12月期3Q	1,377,526株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。上記の予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法について）

当社の決算補足説明資料は、決算発表後速やかにTDnetで開示するとともに、当社ウェブサイトに掲載する予定です。また、2023年11月17日（金）に個人投資家向け決算説明会を開催する予定です。その模様（動画）及び説明内容（書き起こし）については、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期貸借対照表関係)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い経済活動の回復が進みながらも、世界的な原材料価格やエネルギー価格の高騰、中国の景気不安の懸念に加え、物価上昇の影響などもあり、先行き不透明な状況が続いております。一方で、当社が属する訪問看護業界においては、団塊の世代が75歳以上となる「2025年問題」を見据えて、高齢者の病気や障害があっても安心できる高度な医療・介護へのニーズ、また住み慣れた地域で暮らしたいという在宅医療へのニーズに応えることができる体制を構築することが急務となっております。

このような状況のもと、当社は「もう一人のあたたかい家族として在宅生活の安心を届け地域社会へ貢献します」という企業理念のもと、利用者様に寄り添った訪問看護をより多くの方に享受いただけるよう、人材確保と新規拠点開設に取り組んでおります。

当第3四半期累計期間においては、収益性の向上、人材確保に注力するとともに2023年4月に東京都港区及び墨田区、5月に東京都練馬区、9月に東京都新宿区及び杉並区に新規拠点を開設しました。

この結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高1,175,845千円（前年同期比16.9%増）となりました。また、営業利益は111,275千円（前年同期比39.7%増）、経常利益は113,257千円（前年同期比54.9%増）となり、四半期純利益は74,842千円（前年同期比54.8%増）となりました。

なお、当社は訪問看護サービス事業のみの単一セグメントであるため、セグメント別の業績の記載をしておりません。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産は836,082千円（前事業年度末残高756,058千円）となり、前事業年度末に比べ80,023千円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が58,798千円、売掛金が14,393千円増加したことによるものであります。

(固定資産)

当第3四半期会計期間末における固定資産は54,971千円（前事業年度末残高27,969千円）となり、前事業年度末に比べ27,001千円増加いたしました。これは主に、差入保証金が11,612千円、繰延税金資産が13,583千円増加したことによるものであります。

(流動負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債は245,715千円（前事業年度末残高199,849千円）となり、前事業年度末に比べ45,865千円増加いたしました。これは主に、未払金が5,983千円、賞与引当金が44,659千円増加した一方で、未払費用が4,975千円減少したことによるものであります。

(固定負債)

当第3四半期会計期間末における固定負債は25,896千円（前事業年度末残高39,484千円）となり、前事業年度末に比べ13,588千円減少いたしました。これは主に、退職給付引当金が3,223千円増加した一方で、長期借入金が17,350千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産は619,441千円（前事業年度末残高544,693千円）となり、前事業年度末に比べ74,747千円増加いたしました。これは主に、四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年12月期の通期の業績予想につきましては、2023年2月13日の「2022年12月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）」にて公表の業績予想数値に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年12月31日)	当第3四半期会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	451,805	510,603
売掛金	289,839	304,233
前払費用	10,903	17,930
その他	3,802	3,621
貸倒引当金	△292	△306
流動資産合計	756,058	836,082
固定資産		
有形固定資産	5,299	5,360
無形固定資産	234	1,072
投資その他の資産	22,435	48,537
固定資産合計	27,969	54,971
資産合計	784,028	891,053
負債の部		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	22,776	22,849
未払金	16,656	22,639
未払費用	91,369	86,394
未払法人税等	34,951	35,259
未払消費税等	538	273
預り金	32,956	33,038
賞与引当金	-	44,659
その他	601	601
流動負債合計	199,849	245,715
固定負債		
長期借入金	17,350	-
退職給付引当金	18,905	22,128
資産除去債務	3,229	3,767
固定負債合計	39,484	25,896
負債合計	239,334	271,611
純資産の部		
株主資本		
資本金	203,544	203,544
資本剰余金	189,544	189,544
利益剰余金	151,741	226,583
自己株式	△135	△229
株主資本合計	544,693	619,441
純資産合計	544,693	619,441
負債純資産合計	784,028	891,053

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
売上高	1,005,908	1,175,845
売上原価	620,190	704,715
売上総利益	385,717	471,130
販売費及び一般管理費	306,041	359,855
営業利益	79,675	111,275
営業外収益		
業務受託料	1,471	84
助成金収入	1,702	2,036
その他	423	175
営業外収益合計	3,598	2,296
営業外費用		
支払利息	603	309
上場関連費用	9,083	-
その他	476	4
営業外費用合計	10,163	314
経常利益	73,110	113,257
税引前四半期純利益	73,110	113,257
法人税、住民税及び事業税	38,962	51,998
法人税等調整額	△14,209	△13,583
法人税等合計	24,752	38,415
四半期純利益	48,357	74,842

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期貸借対照表関係)

偶発債務

重要な訴訟事件

当社は、食物誤嚥による窒息で死亡した元利用者の遺族から2019年4月に、損害賠償金及び慰謝料の合計110百万円超の支払いを求めた訴訟を提起されておりましたが、2022年10月17日、東京地方裁判所は判決を言い渡し、原告の請求は棄却されました。

本判決に対し、元利用者の遺族は2022年10月21日に、東京高等裁判所へ控訴を提起しておりましたが、2023年9月14日、東京高等裁判所は判決を言い渡し、控訴人の請求は棄却されました。

なお、本第2審の判決を不服として、元利用者の遺族より最高裁判所に対し、一部の損害に限定して57百万円超の上告提起及び上告受理の申立がなされ、現在、最高裁判所の判断待ちの状況であります。

本案件について検討した結果、現時点で将来発生した場合の債務の金額を合理的に見積もることができないため、当該偶発債務に係る損失について引当金は計上しておりません。